

MICROJET

IJK シリーズ



ピエゾInkJet 吐出実験キット

ヘッド、コントローラー、
液滴観察機能が一式揃う



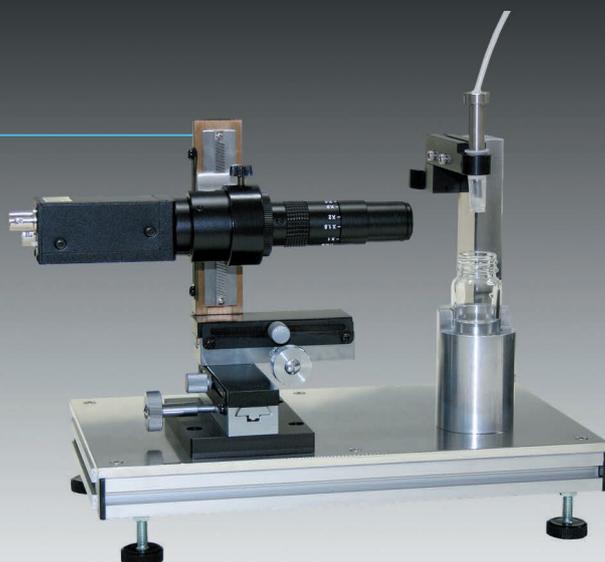
ヘッド



ヘッドコントローラー

〈ヘッドキット〉

ヘッド + コントローラー + ソフト



〈液滴観察キット〉

ヘッドキット + カメラ + レンズ + スタンド

特徴

- 1 パソコン上でヘッド駆動条件を設定可能
- 2 吐出トリガー端子付 → 移動ステージと連動させての吐出が可能
- 3 研究目的や液物性に合わせて、ヘッドを選択可能
- 4 吐出液滴の観察、測定が可能 (IJK-200S)
- 5 研究開発の進捗に合わせ、本キットをスポッター装置へアップグレード可能 (LaboJetシリーズ)



1ノズル
Piezo Head



低粘度から
高粘度まで
0.5~200
mPa·s

用途例

- インクジェット液材料の開発・評価
- 金属ナノ粒子液、UVインク、オイル、DNA、タンパク、抗体、細胞液 等の吐出
- 少量の液での吐出実験、デバイスの試作 (最低必要量約0.3cc)
- 各種実験装置、生産システムへの組み込み 等 (IJK-200H)

※液によって安定吐出ししない場合があります
※写真と実際の装置は異なる場合があります
※仕様は予告なしに変更することがあります

株式会社 マイクロジェット

長野県塩尻市大門五番町79-2 TEL 0263-51-1734 FAX 0263-51-1735 <http://www.microjet.co.jp> sales3@microjet.co.jp

インクジェット吐出実験キット IJK シリーズ 概仕様

機種名	IJK-200H	IJK-200S
用途	液の吐出実験	液の吐出観察、測定、実験
装置構成	GlassJet、コントローラー、専用アプリケーション	GlassJet、コントローラー 液滴観察部、ステージ、専用アプリケーション
インクジェットヘッド	GlassJet ノズル径: 約10~100 μ m	
ヘッド駆動条件	電圧、パルス幅、周波数など（外部トリガー入力で吐出指示可能） ※専用アプリケーションで設定	
吐出液滴量	0.005~1nl/滴、最大周波数 2,000滴/秒 ※ヘッド種類や使用する液種による	
ヘッド適応粘度 ※注1)	0.5~200mPa·s ※ヘッド種類による ※液を加熱しての吐出を含む	
液滴観測機能	なし	標準装備: 発光部、発光制御部、CCD、 ズーム顕微鏡、モニター(オプション)他
吐出液	インク、高分子液、ナノ粒子液、水系、油系、溶剤系、酸性液、液晶、試薬など	
クリーニング	マニュアルによる容器加圧	
電源	単相AC100V \pm 10% 500VA以下	
使用環境	15~30°C 20~70%RH	

インクジェットヘッド

ヘッド種類		特徴	ヘッドヒータ	適応粘度[mPa·s]	吐出液滴量[nl/滴]
GlassJet	IJHBシリーズ	低粘度、高表面張力液を吐出	無	0.5~10	0.005~1
	IJHDシリーズ	加熱せずに高粘度液を吐出	無	0.5~40	0.005~1
	IJHEシリーズ	高粘度液を加熱して吐出	選択	0.5~40 20~200 (液加熱)	0.005~1

※注1) 液種によっては安定吐出できない液があります。

※液滴量により適応粘度目安は異なります。

※上記仕様は予告無しに変更することがあります。